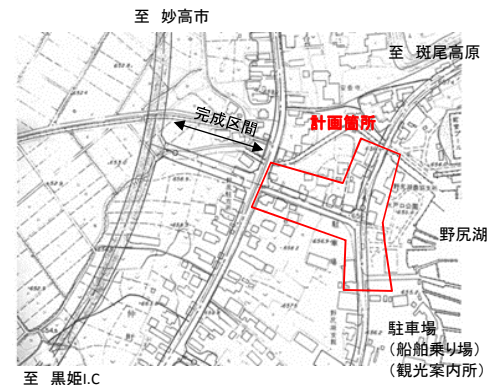
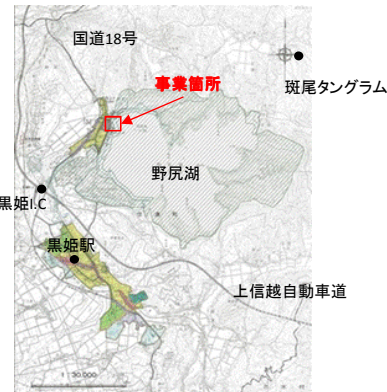


(様式2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		県単街路事業		路河川名等		(都)古間(停)野尻線 他1線<(-)古間(停)野尻線 (-)信濃斑尾高原線>					
事業毎の通番		1		市町村名		上水内郡信濃町					
事業目的		簡所名(ふりがな)		野尻(のじり)							
<p>(都)古間(停)野尻線は、国道18号線を起点とし野尻湖の西側から南側に向かう(-)古間(停)野尻線の一部である。また、(都)野尻菅川線は古間(停)野尻線を起点とし北側に向かう(-)信濃斑尾高原線の一部である。 両路線は共に野尻湖の主要観光地へのアクセス道路として利用され、夏場は湖上スポーツや釣り、合宿等で多くの人や車が往来する。また、野尻菅川線はタングラム斑尾高原へのアクセス道路の一部としても機能しており年間を通じて車やバスの往来が多い。18号線からの一部区間は完成しているが、まちづくりやアクセス道路の観点から早期整備が求められている。</p>		<p>しあわせ信州創造プランにおける位置付け</p>		<p>5-2 快適で暮らしやすいまちづくり</p>		<p>事業実施の根拠法令等</p>		<p>都市計画法</p>			
<p>関連する事業、計画等</p>		<p>長野都市圏総合都市交通計画、信濃都市計画</p>									
<p>保全対象・範囲 受益対象・範囲</p>		<p>受益対象(不特定多数)、計画交通量 720台/日以上</p>									
<p>着手年度</p>		<p>平成28年度</p>		<p>事業期間</p>		<p>5年間</p>		<p>事業費(千円)</p>			
<p>完成年度(見込み)</p>		<p>平成32年度</p>		<p>費用対効果</p>		<p>4.2</p>		<p>財源内訳(千円)</p>			
<p>全体事業内容(主な工種)</p>		<p>・道路改築工 L=300.0m、W=6.0(12.0)m</p>		<p>150,000</p>		<p>0</p>		<p>13,500</p>			
<p>年度事業内容(主な工種)</p>		<p>用地測量 1式 物件調査 1式</p>		<p>12,000</p>		<p>0</p>		<p>1,080</p>			
<p>事業効果</p>		<p>直接的効果(定量的・定性的)</p>		<p>・市街地の骨格軸の形成による交通の円滑化及び交通安全の向上 ・歩道の整備による歩行者の安全性の確保および周辺道路整備によるランニングコース、サイクリングコースの利用性向上</p>							
<p>間接的効果(定量的・定性的)</p>		<p>・野尻湖へのアクセス道路整備による観光拠点の活性化 ・交差点改良によるまちなみの景観形成が期待される。</p>									
<p>必要性</p>		<p>○計画自動車交通量：720台/日 ○交通結節点アクセス：しなの鉄道黒姫駅、野尻湖、斑尾高原タングラム、黒姫高原I.C ○計画幅員6.0(12.0)m ○地域の特性：信濃町の観光拠点である野尻湖および斑尾高原タングラムへのアクセス道路である。</p>						<p>評価</p>		<p>A</p>	
<p>重要性</p>		<p>○関連計画、重点施策との整合 長野都市圏総合都市交通計画、信濃都市計画 ○緊急輸送道路等の路線指定 信濃町地域防災計画：緊急輸送路</p>						<p>評価</p>		<p>C</p>	
<p>効率性</p>		<p>○費用対効果(B/C)：4.23 ○事業期間：5年間 ○工法等の比較検討：施工コストの縮減検討</p>						<p>評価</p>		<p>A</p>	
<p>緊急性</p>		<p>○近年の交通事故件数：近年3ヶ年4件(H25:0件、H26:0件、H27:4件) ○現況幅員5.0(6.1)m、歩道なし ○自転車対策：野尻湖周回道路として、サイクリングロード等への活用を検討</p>						<p>評価</p>		<p>B</p>	
<p>計画熟度</p>		<p>○事業情報の共有：平成27年10月26日 信濃町合同現地調査箇所 ○地域の取り組み：平成27年9月整備について要望有り ○地域の合意形成：昭和60年12月23日都市計画決定 ○住民との協働：毎年トライアスロン大会前の地域住民による沿道整備活動</p>						<p>評価</p>		<p>A</p>	
<p>部意見</p>		<p>当路線は、観光地である野尻湖へのアクセス道路であり、イベント等で活用されているが、歩道が未整備であることから、必要性が高く、事業の実施が必要である。</p>		<p>行政改革課意見</p>		<p>観光地へのアクセスや野尻湖周辺のイベントが開催されている中で、歩道未整備区間があり、必要性が認められる。</p>		<p>評価結果</p>		<p>○</p>	
								<p>総合評価</p>		<p>B</p>	

【位置図、平面図、構造図等】

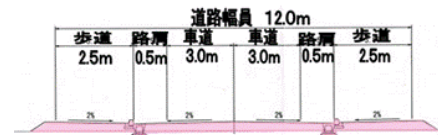


事業概要説明図表

現況写真



標準横断面図



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭和60年に該当路線を含む複数路線での都市計画決定が告示され、平成元年より国道18号野尻バイパス事業が整備されてきている。これに伴い(都)古間(停)野尻線の起点側も整備が実施されたが一部区間の改良のみにとどまっているのが現状である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	観光拠点(野尻湖)へのアクセス道路であり、歩道の未整備区間であることから、歩行者の安全を確保する事を目的として信濃町から道路改築の要望がある。
③事業説明等の経緯	平成27年9月 信濃町(野尻区区长含む)との合同現地調査実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事期間中の交通規制による影響が懸念される。
⑥地域活性化への影響と配慮	野尻湖周回道路の一部区間が整備されることにより、自動車道としての拡幅改良のみならずサイクリングロードやマラソンコース等の街路を活かしたまちづくりが期待される。
⑦その他	
<p>事業代表地点の緯度経度</p>	
<p>北緯:N 138° 12' 25.66"</p>	
<p>東経:E 36° 50' 5.42"</p>	